



宮城のニュース

宮城 社会

ツイート

記事を印刷

## 温暖化防止にステッカーで貢献

森林の間伐や整備などによる二酸化炭素(CO2)の吸収量を企業などに売却できる「オフセット・クレジット制度(J-CER)」を活用する宮城県登米市などが、2014年秋からクレジット(排出削減量)の個人向け販売用ステッカーを取り扱っている。この取り組みが地球温暖化防止に貢献しているなどとして、東北の自治体や企業などでつくる「J-クレジット東北地域推進協議会」から最高賞を贈られることが決まった。

ステッカーは、登米市と米川生産森林組合(同市)、県が参加する「登米地域森林吸収オフセット・クレジット普及広報連絡会議」が販売している。

登米市は13年から、市有林整備で吸収されたCO2削減分のクレジットを企業などに販売している。さらに普及させようと連絡会議を設置し、個人が気軽にクレジットを買えるように1枚324円(CO210キロ分)のステッカーを2000枚作成。各自が排出した相当分を無かったことにする(オフセットする)仕組みで、既に約1500枚が売れた。

これが推進協議会に評価され「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」最優秀賞に選ばれ、10日に仙台市太白区文化センターで表彰される。推進協議会は本年度、排出するCO2を別な場所の森林などの削減・吸収量で埋め合わせる「カーボンオフセット」について優れた取り組みの表彰を始めた。

受賞が決まった連絡会議事務局の登米市農林政策課は「環境破壊を抑えるように一人一人の意識を向上させることにつながる」とステッカー販売の狙いを説明する。ステッカーは同課や米川生産森林組合などで販売。連絡先は同課0220(34)2716。



登米市などが販売するステッカー

関連ページ: [宮城 社会](#)

2018年02月02日 火曜日

ツイート

記事を印刷